

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
2. (社福)恩賜財団 母子愛育会	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 3.愛育班員等研修会 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 5.専門里親養成教育の開催	1.目的・対象者及び参加人員 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させる。自治体の保健師100名 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせる。自治体勤務の栄養士30名 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成する。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等30名 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供する。医師・助産師・看護師290名 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高める。先天性代謝異常症等検査技術者50名 2.目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供する。 情報収集リスト～ 国の施策、審議会、懇談会等 虐待問題、里親問題等 病気・医療 健やか親子21関連 子育て支援 児童福祉施設・養護施設 障害児に関すること等Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件 3.市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催10回 4.育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。 5.専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育する。100名	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。 3.愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。 5.専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
5. 子どもの心・体と環境を考える会	思春期の健康教育に関する学際的なエビデンスの集積	<p>研究会誌「子どもの健康科学」第3巻1号発行第3回学術大会の講演（「健康な学校」「何故、今、行動療法なのか」）およびシンポジウム（「子どもの健康と学校」「アレルギーと学校生活」）について、演者が論文化した研究会誌200部を発行、配布した。</p> <p>第4回学術大会開催 平成14年11月22日（金）23日（土）の両日、アルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催。参加人数約200名。「新しい世紀を担う子どもの健全な育成のために」をメインテーマとし、2つのシンポジウム、4題の講演、4セッション13題の一般演題発表が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム : 「なぜ、今、子育て支援か」 ・シンポジウム : 「わが国の将来を担う子どもの健全な育成のために」 ・特別講演 : 「新しい世紀を担う子どもを遅く育てるために」 ・会長講演: 「病気を通してみる子育ての問題点とその解決法」 ・特別講演 : 「子育ての臨界例 - 神経科学的見地からの考察」 ・教育講演: 「学校教育の体質転換をめざして」 ・その他一般演題では、「中学校におけるストレスマネジメント教育の効果」「小児がん患者の親子関係 思春期の外来患者についての検討」「地域青少年指導者への心理教育」等、(課題1)に関連した研究報告がなされた。 <p>研究会誌「子どもの健康科学」第3巻2号発行第1回テーマ別研究会“質的研究”(「質的研究 その概要と保健医療分野における価値」「ナラティブ志向の質的研究</p>	<p>第5回学術大会開催 河野陽一大会長(千葉大学大学院医学研究院小児病態学・教授)の下、平成15年12月12日(金)13日(土)に第5回学術大会を開催予定。参加人数200名程度を予定。</p> <p>会員の質的向上を目指した研究会「テーマ別研究会」において、子どもに関する、研究や実践に役立つ課題を取り上げる。</p> <p>研究会誌「子どもの健康科学」第4巻 第1号・第2号を発行する。</p> <p>会員相互の情報交換・意見交流を目的としたメーリングリストの活用。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
7. (財)性の健康医学財団	3.9.十代の性感染症の罹患の予防と性感染症に対する若者への知識の普及・啓発	<p>* 第2回性の健康週間(平成14年11月25日～12月1日)の実施</p> <p>・目的(主題):若い人たちの性感染症予防のために、健やか親子21運動との連携を図り、啓発を集中的に行う。</p> <p>・メインイベント:市民公開講座「いのちを育むため愛するために - 若者と性の健康 -」(11月26日,浦安市)</p> <p>参加人数(対象者):約200名(学校関係者、保健衛生関係者、医学・医療関係者、学生等)</p> <p>・「性の健康週間」のポスター・チラシの作製。各1,100部、5,000部配布。(ポスターはホームページからのダウンロードも可能とした結果、岩手県保健福祉部保健衛生課が活用し、県内の各保健所あて配布した。)</p> <p>・期間中特電を設け、専門医による“性の健康相談”の実施(電話相談件数33件)</p> <p>・「性感染症 - サーベイランス & ガイドライン」の作成・配布(性感染症予防啓発のための専門家向け小冊子、全国の保健所、大学医学部、都道府県医師会等約230ヶ所に配布)</p> <p>・「性の健康相談」に関するリーフレット(25,000枚)及びカード型チラシ(75,000枚)の作成・配布(同上)</p> <p>* “性の健康”に関する研修会・セミナーの講演依頼への対応(4件)</p> <p>* 一般市民を対象とする公開セミナーの開催</p> <p>11月16日 成果発表会「若者と性の健康」(鹿児島市)(約180名参加)</p> <p>02月22日 女性のための健康フォーラム(東京)(約400名参加)</p> <p>03月29日 成果発表会「若者と性の健康」(福井市)(約14</p>	<p>* 第3回性の健康週間(平成15年11月25日～12月1日)の実施</p> <p>* “性の健康”に関する研修会・セミナーの講演依頼への対応</p> <p>* 一般市民を対象とする公開セミナーの開催</p> <p>* ホームページ(パソコン、モバイル)コンテンツの充実</p>
10. 全国市町村保健活動協議会(NPO)		<p>通算6回の本会機関誌「全保協ニュース」を発行し、毎月何らかの形で課題のテーマに関する情報及び地方日刊紙掲載の関連記事の提供、紹介を行った。(13,000部発行。市町村保健師等に配布)</p> <p>健康日本21地方計画策定市町村実態調査を行ったが、これに併せて、活動モデルの調査を行い、報告書にまとめ、その中で課題テーマに関する情報を広報した。(会員市町村対象)</p> <p>全国市町村保健活動専門研修会を開催し、厚生労働省谷口母子保健課長による「健やか親子21」と「少子化対策プラスワン」の講演を行った。(受講者200名、の</p>	<p>機関誌「全保協ニュース」(隔月発行)において課題のテーマに関する中央及び地方の情報伝達を行う。</p> <p>調査研究事業として適切なテーマを探求し、アンケート調査及び実地調査を行い、これを広報する。</p> <p>全国研修会を開催し、講演、シンポジウム、グループディスカッションなど多彩な組合せの中に、課題のテーマをおりこみ、有識者の指導を受ける場をつくる。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
12.全国情緒障害児短期治療施設協議会		<p>公開研修会 「『引きこもりと家庭内暴力』に関する関係職員研修会」 (対象:児童施設職員・児童相談所・教育相談機関・医療機関等)</p> <p>・第1回 平成14年8月7日(於:名古屋クラウンホテル) 演題:「引きこもりの子どもと親への支援」 講師:青木省三氏 川崎医療大学 教授(精神科医師)</p> <p>・第2回 平成14年10月31日(於:ヴィアール大阪) 演題:「ひきこもりとその家族に向き合う」 講師:花田雅徳氏 近畿大学 教授</p> <p>・第3回 平成14年11月12日(於:仙台市シルバーセンター) 演題:「『社会的ひきこもり』へどう社会的援助を組むか」</p> <p>総合司会:米川文雄氏 小松島子どもの家 園長 司 会:大坂 純氏 白百合女子大学 助教授 講 師:飯室 勉氏 仙台ダルク 施設長 石川 達氏 東北会病院 副院長(精神科医師)</p>	<p>全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 全体研修会(第40回) ・平成15年7月7日(水)~9日(金) ・基調講演、パネル討論、分科会症例研究、ワークショップ、特別講演、施設見学 ・於:ホテル・ニュータナカ 開催担当:山口県みほり学園</p> <p>心理治療部会研修会(第24回) ・平成15年10月16日(木)~17日(金) ・テーマ「広汎性発達障害に対する理解」 「有効的な親へのケア家族の支援」 ・基調講演、症例研究、シンポジウム、特別講演、施設見学 ・於:ホテル・サンルート彦根 開催担当:さざなみ学園(滋賀県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
12.全国情緒障害児短期治療施設協議会		<p>全国情緒障害児短期治療施設職員研修会 全体研修会(第39回) ・平成14年8月7日(水)～9日(金) ・基調講演、パネル討論、分科会症例研究、ワーク ショップ、特別講演、 施設見学 ・於:名古屋クラウンホテル 開催担当:愛知県立な らわ学園 心理治療部会研修会(第23回) ・平成14年10月10日(木)～11日(金) ・テーマ「児童虐待と発達障害」 ・基調講演・施設見学・症例研究・特別講演 ・於:五色台国民休暇村 開催担当:四恩の里若竹 学園 生活指導部会研修会(第23回) ・平成14年10月31日(木)～11月1日(金) ・テーマ「児童虐待における保護者・子どもへの援助的 関わりについて」 ・基調講演・症例研究・シンポジウム・特別講演・施設見 学 ・於:ヴィアール大阪 開催担当:大阪市立児童院 研究紀要の発行 ・平成15年3月末(編集:京都市青葉寮) ・「心理治療と治療教育」第14号 相談担当者向けハンドブックの発行(2万冊) ・平成15年3月末(編集:全国情緒障害児短期治療施 設協議会相談担当</p>	<p>生活指導部会研修会(第24回) ・平成15年9月18日(木)～19日(金) ・テーマ「生活と自己主張」 ・基調講演、分科会症例研究、討論、施設見学 ・於:小松島子どもの家 開催担当:小松島子 どもの家 研究紀要の発行 ・平成16年3月末(編集:愛知県立ならわ学園) ・「心理治療と治療教育」第15号 情緒障害児短期治療施設自主評価基準作成 ・平成15年度6月</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
13. 全国助産師教育協議会	2.8.9	<p>第38回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成14年5月24日(金)～25日(土) 【総会における報告事項から】 ・研修会報告(中国地区活動報告) 期間:平成13年8月9日～10日 内容:特別講演「ピアカウンセラーの育成と高校生への性教育を実施して」「高校生に対するピアカウンセリングの試み」 参加人数:10校13名 場所:島根県立看護大学 全国助産師教育協議会発行 NEWS LETTER No.38 2003.2.25には、本協議会の斉藤益子常任理事による「性教育の必要性和助産師の役割」と題した記事が記載された。助産師がもつ性教育の担当者としての適性や、助産師学生が若年者にピアカウンセリングすることの有益性、さらに今後の助産師教育のなかで性教育実習を導入していくことの重要性が述べられている。 また、東邦大学医療短大母子専攻科の教員と学生が、平成14年10月28日に大田区立御園中学校にて実施した性教育への取り組みと、中学生の素直な反応や、実習した助産師学生の学びが記載された。</p> <p>検討課題 テーマ:「避妊法・経口避妊薬」に関する教育の調査(平成15年1月) 対象:全国の助産師基礎教育機関(111校)調査は、助産師教育の担当責任者(各校1名)に依頼した。結果62校より回答が得られた。避妊法・経口避妊薬の教育内容については第39回全国助産師教育協議会総会において報告予定。</p>	<p>第39回全国助産師教育協議会総会を開催 期間:平成15年5月16日(金)～17日(土) 場所:東京都立保健科学大学会員に対して「健やか親子21」の活動状況を報告する。 全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行 ・NEWS LETTER のなかに、関連記事を取りあげる。 委託検討課題 ・平成14年度の調査結果から、学生や助産師を対象とした調査を検討。 ・「避妊法・経口避妊薬」に関する助産師教育カリキュラムモデル案作成の検討。 ・参加者主体の健康教育方法について、研修会テーマに取り上げる。</p>
18. 全国養護教諭連絡協議会	5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 60.栄養・食生活の改善*パンフレットの作成、配布	5. *研修会を実施 目的(テーマ):薬物に関する現状と薬物乱用の有害性を伝え、学校内外での、教育や情報伝達を強化する。 参加人数(対象者):200名(教育、保健関係者、PTA、民生委員等) 開催数、方法等:3回(団体支部と県教育委員会との共同開催) 県、××県、 県で実施 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。 60. 目的:乳幼児期からの健康的な食習慣の確立をねらいとした食教育リーフレットの作成配布 対象者:関係機関(保健センター、児童館等)に配布 配布部数:10000部 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。	5.薬物乱用 *研修会を継続実施 前年と異なる内容:開催数を5回に拡大 県、 県、……………で実施予定 参加人員:…名程度を予定 *「 週間」に、都道府県支部にて事業を実施 目的:広く一般市民向けに薬物乱用の有害性等の普及・啓発を行う 開催県:全都道府県開催方法:ポスター作成の他、 県では、……を予定 効果、その他:……………(具体的にお書き下さい)。 60.栄養・食生活の改善 *パンフレットの作成、配布(継続実施) 前年度と異なる内容: にも配布予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
18. 全国養護教諭連絡協議会	1.研究活動 2.要請・要望活動 3.広報活動 4.本会の運営の充実	1.研究活動 調査研究課題と内容 1) 新たな時代における養護教諭の職務の明確化とその再構築の取り組み ・職務検討委員会；調査研究のまとめ ・第8回研究協議会で発表 2) 養護教諭に関わる医療的ケアの調査 ・医療的ケアに関わる委員会；調査研究の分析・検討 ・日本学校保健学会にて発表「学校での医療的ケア(日常・応急手当)に関する全国調査 第1報」 研究誌「瑞星」3号編集・発刊；調査研究のまとめ、教育実践事例他 研修会の開催 ・目的；養護教諭の資質向上を図るとともに児童生徒の生涯を展望した学校保健の充実に寄与する。 ・研修内容；養護教諭が行う保健学習、養護教諭が各学校で教育計画に基づき組織的に健康教育に関わるために必要な事項を研修する。 ・講師；和唐 正勝氏他大学関係者 ・参加人数 100～200名 ・開催数、方法等；3回 アドバンストコース 福島県において実施(2日間) スタンダードコース 宮崎県、東京都(3日間)において実施 ・効果；養護教諭の専門的な知識や技能の向上、児童生徒への理解の深化、教材研究、養護教諭としての専門的な指導力の向上等での成果が得られた。 研究協議会の開催	1.調査・研究活動 1) 調査研究 悉皆調査 2) 第6回研修会の開催 日程；平成15年8月26日・27日・28日 会場；国立オリンピック記念青少年総合センター 内容；現代的課題の対処法と実践交流 人数；180人 3) 第5回学校保健連絡協議会の開催 日程；平成15年6月21日 会場；芝講演東京タワー機械振興会館 内容；不登校問題に関する調査研究協力者会議から 4) 全国養護教諭研究大会の共催と第6部会研究運営 日程；平成15年7月30日・31日 会場；長野県民文化会館 テーマ；「かがやけ！養護教諭」 新たな役割への挑戦 5) 第9回研究協議会 日程；平成16年2月27日 会場；メルパルクホール 内容；講演、フォーラム 2.要請・要望活動 1) 養護教諭の資質向上のための方策に関すること 2) 養護教諭に関わる法改正等の運用に関すること 3) 保健室の施設設備の充実に関すること 4) 養護教諭養成課程の改善及び充実に関すること

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
18. 全国養護教諭連絡協議会		<ul style="list-style-type: none"> ・目的; 養護教諭の職の確立に向け、養護教諭に必要とされる資質やそのための条件整備について協議し研究を深める。 ・研修内容; 講演会、協議会 養護教諭の職について考える ・参加人数; 1100人 ・対象者; 養護教諭、教育委員会関係者、学校保健関係者 ・会場; 東京 ・特別講演講師; 田代 美代子「私の生きてきた道 ユネスコ世界寺子屋運動を通して」 ・効果; 養護教諭の職の確立に向けて研究を深めることができた。 緊急代表者会議の開催 ・医療的ケアに関する事項について ・対象者; 養護教諭 ・参加者; 150人 学校保健連絡協議会の開催 ・目的; 近年社会において子どもたちが受ける影響も予測できないような事態が起こっている。養護教諭としてどのような取り組みをしなければならないか研修を深める。 ・研修内容; 学校事故の対応について ・参加人数; 200名 ・開催会場; 東京 ・講師; 戸田 芳雄氏 	<ul style="list-style-type: none"> 3. 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 1) 会報・事務局便りの発行 2) ホームページの充実、その他 4. 医療的ケアに関する連絡会との連携 <ul style="list-style-type: none"> 1) 第1回連絡会開催 平成15年7月14日5 本会組織の盤石化 会則の改訂検討・確立 各委員会の開催 6. 他機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省関係、(財)日本学校保健会関係、厚生労働省関係他
18. 全国養護教諭連絡協議会		<ul style="list-style-type: none"> 2 要請・要望活動 <ul style="list-style-type: none"> 養護教諭の資質向上のための方策 養護教諭に関わる法改正等の運用に関する要望 保健室の施設・設備の充実 養護教諭養成課程の改善・充実 3 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 会報の発行 事務局だよりの発行 ホームページの充実 究誌「瑞星」3号発刊 4 本会の運営の充実 <ul style="list-style-type: none"> 会則の改訂・細則の設定 各委員会の開催 5 他機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省関係、(財)日本学校保健会関係、厚生労働省関係 	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
20.(社)日本医師会	6. 学校保健委員会開催 学校医講習会開催 全国学校保健・学校医大会開催 10代の喫煙の防止	・「肺がん禁煙キック」禁煙啓発ビデオ配布 配布先：全国の中学校（約12,000校） ・禁煙啓発パンフレット「君たちとタバコと肺がんの話」の配布 学校保健委員会開催 会長諮問「学校医活動の実践とその展開方法について」の検討 概要：諮問に対する骨子案作成 学校における結核対策（結核健診マニュアルを学校医に配布）の実施 平成14年度学校医講習会 平成15年2月15日（土） テーマ「学校保健にかかわる専門相談医のあり方（シンポジウム）」 対象：日本医師会会員である学校医 参加人数：約290人 第33回全国学校保健・学校医大会（福井県）平成14年11月9日（土） 「みつめよう子供達の未来 - 学校医は何ができるだろうか」 対象：都道府県医師会関係者及び学校医 参加人数：約630人	禁煙啓発パンフレット「君たちとタバコと肺がんの話」の配布 学校保健委員会開催 会長諮問「学校医活動の実践とその展開方法について」に対する答申書作成 平成15年度学校医講習会を開催予定 平成16年2月14日（土） 対象：日本医師会会員である学校医 参加人数：300人を予定 第34回全国学校保健・学校医大会を開催予定（青森県） 平成15年11月8日（土） 「たくましく生きる子どもたちの育成をめざして」 対象：都道府県医師会関係者および学校医 参加人数：650人を予定 各科専門医の学校保健活動に関する実践研究事業の実施 学校現場におけるいじめや不登校などの心の問題、性の逸脱行為、スポーツ障害、アレルギー疾患などの課題について、精神科医、産婦人科医、整形外科医、皮膚科医の協力が不可欠であることから、全国で3か所に委託し、研究事業を実施する。
22.(社)日本家族計画協会	(別紙参照)	(別紙参照)	(別紙参照)
23.(財)日本学校保健会	9.性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 10.学校保健委員会開催と開催への支援強化 11.外部機関と連携した薬物乱用防止教育の推進	9.*エイズパンフレットの配布 小学校ポスター 全校 中学1年パンフレット 全員 高校1年パンフレット 全員 10.*「健康教育推進学校表彰事業」の創設 学校・家庭・地域社会が協力して健康教育を推進し、成果をあげている 学校を表彰する事業について、本年度第一回の表彰を行った。 保健室利用状況報告書の配布 前年度の実態調査に基づき、報告書を作成し、全市町村に配布した。 11.*薬物パンフレットの配布 小学生ポスター 全校 中学1年パンフレット 全員 高校1年パンフレット 全員 *薬物乱用防止教室ビデオの作成配布 小・中・高等学校が薬物乱用防止教室を開催するに当たっての参考	9.性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 10.学校保健委員会開催と開催への支援強化 11.外部機関と連携した薬物乱用防止教育の推進は前年度と同様の活動を行う。 新規として 6.十代の飲酒の防止 *喫煙防止教育教材作成小委員会を設置し 小学生ポスター 全校 中学1年パンフレット 全員 高校1年パンフレット 全員 に配布することとしている。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会	8.避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発および「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討	1. 母体保護法第39条に関する検討 (目的)平成13年度に実施した受胎調節実地指導等の予備調査の結果を踏まえて、本調査の企画・実施および受胎調節実地指導の拡大・強化をはかった。 (内容)日本助産師会との意見交換を行い、調査票作成。厚生科学研究にて8月に郵送法による質問紙調査を実施。(対象者2,850名;有効回答数1,105名、回収率38.8%)今後、受胎調節実地指導員の業務の強化・拡大について検討予定。 「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討 (目的)「健やか親子21」の思春期に関する課題における助産師活動の現状を把握し、職能としての今後の取組みの方向性を探る。 (内容)1) 思春期における人工妊娠中絶・性感染症の減少を目指し、職能としての役割および活動展開に関しての具体策の検討を行った。 2) 都道府県看護協会と連携し、地区別都道府県助産師職能委員長会で実際に思春期教育を実践している施設などの実態把握を行った。 3) 第1回・第2回都道府県助産師職能委員長会において、思春期に関する講演および活動報告の企画実施。 第1回:平成14年7月26日 如水会館 第2回:平成15年1月31日 ホテルフロラシオン青山	1. 思春期における人工妊娠中絶・性感染症に向けての活動 1) 「健やか親子21」の思春期に関する課題と助産師活動のあり方の検討 (目的)思春期の保健対策の強化と健康教育の推進をしていくための職能の役割を検討する。 (内容)人工妊娠中絶、性感染症の減少をはかるための具体的活動 2) 母体保護法第39条に関する検討 (目的)平成14年度計画継続 (内容)平成14年度に実施した受胎調節実地指導等の実態調査結果を踏まえ、受胎調節実地指導員の活動の拡大・強化の検討をおこなう。
25. 日本公衆衛生学会	6.(十代の喫煙防止) 13.(思春期外来等の整備)	6.(十代の喫煙防止) 平成14年5月に本学会の理事長名で、「たばこのない社会の実現に向けて、さらなる前進を」と題する宣言を公表し、喫煙防止教育の推進や禁煙環境の整備を呼びかけた。(宣言文は、日本公衆衛生雑誌、第49巻第5号の巻頭に掲載。) 第61回総会(平成14年10月、さいたま市)において、「未成年者に対する喫煙防止」に関するミニシンポジウムを開催した。(参加者200人) 13.(思春期外来等の整備) 第61回総会において、「思春期相談と関係機関の連	6.(十代の喫煙防止) 第62回総会(平成15年10月、京都市)において、喫煙対策の推進に関するシンポジウムを開催する。 第62回総会での採択を目的に、たばこ対策に関する本学会の基本方針や目標を盛り込んだ「行動宣言」を作成する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13	<p>・平成14年度会員数(平成15年3月末日現在) 1,985人 (昨年度同期 1,982人)</p> <p>・学術集会の開催 第21回日本思春期学会学術集会(会長:金沢大学大学院医学系研究科泌尿器科学 並木幹夫教授)を、平成14年8月23日、24日金沢市文化ホールにおいて開催。なお8月22日にはプレングレスを金沢市文化ホールにおいて開催。</p> <p>参加者数 プレングレス 311人 学術集会 585人 メインテーマ「IT社会と思春期」一般演題 46題</p> <p><プログラム> 1.プレングレス(市民公開講座) 思春期をめぐる問題と「健やか親子21」-保健・医療・教育現場での取り組み- 司会:関 秀俊(金沢大学医学部保健学科 母性・小児看護学) 越田 理恵(金沢市福祉保健部 元町福祉保健センター)</p> <p>「思春期における心と体の健全な発育をめざして…行政としての対応」 谷口 隆(厚生労働省 雇用均等・児童家庭局)</p> <p>「成育医療の視点からみた“思春期のこころ”のネットワークケア」 田原 卓浩(国立成育医療センター総合診療部)</p> <p>「スクールカウンセラーの取り組み」 平口 真理(金沢医科大学精神神経科 臨床心理士)</p> <p>「教育現場との連携による性・エイズ教育の実践」 岩室 紳也(神奈川県厚木保健所 神奈川県立厚木病院泌尿器科)</p> <p>「10代女性における無症候性性感染症流行の現状と問題点」 蛭名 紀子(育愛会 札幌東豊病院 産婦人科)</p> <p>「地域活動で展開する生と性の学習会 - 性的自立と生</p>	<p>・学術集会 第22回日本思春期学会総会並びに学術集会(会長:京都府立医科大学 婦人科教授本庄 英雄)は、平成15年8月16日～19日国立京都国際会館において開催。</p> <p>・『思春期学』の発行</p> <p>・渉外活動 1.「健やか親子21」国民運動推進協議会・参加団体として、特に「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」の課題に取り組む。 2.アジア性科学連合、日本性科学連合への参加 3.世界小児思春期婦人科連合(FIGIJ)への参加 4.学会、会議、セミナー等への後援</p> <p>1)(社)日本家族計画協会主催・本学会の後援・指導 第7回交流分析セミナー(思春期保健相談員研修会) 期日:平成15年11月予定 会場:(東京都)</p> <p>第7回ライフ・スキル教育セミナー(思春期保健相談員研修会) 期日:平成15年12月23日(火) 会場:(東京都)</p> <p>第21回 マンスリー・ピクスインストラクター認定セミナー(思春期保健相談員研修会) 期日:平成16年3月予定 会場:(東京都)</p> <p>思春期保健相談員学術研究大会 期日:平成15年6月20日(金) 会場:すみだリバーサイドホール</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		<p>2. 学術集会および総会</p> <p>1) 基調講演 「IT社会の中の子供達」森 ミドリ(音楽家)</p> <p>2) 特別講演 特別講演I 「日本の若者の性行動と性感染症感染リスク」木原雅子 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科病態情報医科学講座) 特別講演II 「男性の思春期」熊本悦明(財団法人 性の健康医学財団 会頭)</p> <p>3) 会長講演 「思春期と遺伝子」並木幹夫 (金沢大学大学院医学系研究科泌尿器科学)</p> <p>4) シンポジウム シンポジウム1 「IT社会のコミュニケーション」 司会: 渋谷 昌三(目白大学人間社会学部社会情報学科) 北村 邦夫((社)日本家族計画協会 クリニック) 「若者のコミュニケーションにおけるIT利用の現状」 川浦 康至(横浜市立大学国際文化学部社会心理学) 「IT社会に生きる」 若者代表 「ITと社会的適応」 小林 久美子(お茶の水女子大学大学院博士課程在籍) 「IT社会に望まれるコミュニケーションスキル」 渋谷 昌三(目白大学人間社会学部社会情報学科)</p> <p>シンポジウム2 「思春期における問題行動」 司会: 小山 善子(金沢大学医学部保健学科 成人・老人看護学) 清田 吉和(石川県こころの健康センター所長) 「思春期・青年期における社会的ひきこもりについて」 近藤 直司(山梨県精神保健福祉センター所長) 「思春期と非行」 市村 多加子(金沢家庭裁判所次席家庭裁判所調査官) 「現代青年の対人関係」 岡田 努(金沢大学文学部人間学科心理学講座) 「思春期と睡眠障害」 大川 匡子(滋賀医科大学精神医学教室)</p>	<p>・研修事業</p> <p>1. 誌上研修 『思春期学』Vol. 21 No. 2 「人工妊娠中絶と看護」をテーマに実施 『思春期学』Vol. 21 No. 3 「摂食障害」 『思春期学』Vol. 21 No. 4 未定 『思春期学』Vol. 22 No. 1 未定</p> <p>2. 第22回日本思春期学会学術集会において、8月17日に「思春期と法律」をテーマとして研修会を開催。</p> <p>3. その他</p> <p>1) (社)日本家族計画協会主催(厚生労働省・文部科学省後援)日本思春期学会認定「思春期保健相談員」養成のための思春期保健セミナーの後援・指導 コース 第43回 平成15年 6月27日～29日(愛知県) コース 第44回 平成15年 7月25日～27日(神奈川県) コース 第35回 平成15年 9月14日～16日(東京都) コース 第36回 平成15年10月24日～26日(山口県) コース 第44回 平成15年12月12日～14日(岡山県) コース 第45回 平成16年 1月 9日～11日(千葉県) コース上級 第 4回 平成16年 2月20日～22日(千葉県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		<p>シンポジウム3「性同一性障害への対応」 司会:小池 浩司(金沢大学大学院医学系研究科産婦人科学) 性同一性障害を初めとする性的少数派に対する我が国の現状と社会の対応 伊藤 悟(法政大学文学部教育学科) 思春期における性同一性障害へのあり方 虎井 まさ衛(作家) 性同一性障害の診断と心理社会的アプローチ 塚田 攻(埼玉社会保険病院・精神神経科) 性同一性障害に対する手術(性別適合手術) 井上 義治(埼玉医科大学総合医療センター・形成外科)</p> <p>シンポジウム4「思春期と栄養」 司会:田坂 慶一(大阪大学大学院医学系研究科産科婦人科学) 大関 武彦(浜松医科大学小児科) 思春期の栄養所要量 小松 龍史(お茶の水女子大学生活科学部) 国民栄養調査結果から見た、思春期の栄養摂取と問題点 滝本 秀美(国立健康・栄養研究所 健康・栄養調査研究部主任研究員) 思春期の栄養と疾患 大関 武彦(浜松医科大学小児科) 思春期女性の栄養摂取と問題点 廣田 孝子(辻栄養調理師学校) 思春期栄養摂取と生活習慣病の予防 小松 啓子(福岡県立大学人間社会学部)</p> <p>5) 一般演題、その他 6) ランチョンセミナー 「若者とピル」 北村 邦夫((社)日本家族計画協会 クリニック) 「思春期女性のQOL - 産婦人科の立場からみつめて -」 家坂 清子(医療法人 清和会 いえさか産婦人科医院) 「若い女性における性感染～クラミジア・ヒトパピローマウイルス感染～」 笹川 寿之(金沢大学医学部保健学科)</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		<p>・『思春期学』の発行 平成14年6月 『思春期学』 Vol.20 No.2発行 特集 思春期とジェンダー 原著論文 2篇 平成14年9月 『思春期学』 Vol.20 No.3発行 特集 健やか親子21と思春期保健対策 原著論文 3篇 平成14年12月 『思春期学』 Vol.20 No.4発行 特集 第21回日本思春期学会学術集会 特集 思春期男子の泌尿器科的諸問題 原著論文 2篇 平成15年3月 『思春期学』 Vol.21 No.1発行 特集 生を豊かにする死の教育 原著論文 3篇 ・ 渉外活動</p> <p>1. 「健やか親子21」国民運動推進協議会・参加団体として、特に「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」の課題に取り組む。「健やか親子21」推進協議会(厚生労働省) 期日:平成14年12月25日(水) 会場:合同庁舎5号館 平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究公開シンポジウム 期日:平成15年3月4日(火) 会場:JAホール</p> <p>2. アジア性科学連合、日本性科学連合への参加 日本性科学連合(JFS)第4回「性科学セミナー」 期日:平成2002年10月19日(土) 会場:大阪市立大学附属病院5F講堂</p> <p>3. 世界小児思春期婦人科連合(FIGIJ)への参加</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
28. 日本思春期学会		1) (財)日本精神衛生会主催・第16回日本精神保健会議「メンタルヘルスの集い」 - 精神病者慈善救済会設立100年記念 - 期日:平成14年5月25日(土) 会場:有楽町朝日ホール(マリオン11階) 2) (社)日本産婦人科医会主催・第25回日本産婦人科医会性教育指導セミナー 期日:平成14年7月7日(日) 会場:横浜市市民文化会館 関内ホール 3) (社)日本家族計画協会主催本学会の後援・指導 第6回交流分析セミナー(思春期保健相談員研修会) 期日:平成14年11月30日(土)~12月1日(日) 会場:主婦会館プラザエフ(東京都) 第6回ライフ・スキル教育セミナー(思春期保健相談員研修会) 期日:平成14年12月22日 会場:一ツ橋ホール(東京都) 第20回 マンスリー・ピクスインストラクター認定セミナー(思春期保健相談員研修会) 期日:平成15年3月2日 会場:東陽町YMCA(東京都) 健やか親子21推進事業研究会(リゾ・ヘルス事業) 期日:平成15年3月5日 会場:コクヨホール(東京都)	
28. 日本思春期学会		. 研修事業 1. 誌上研修 『思春期学』Vol.21 No.1 - 「思春期の健康教育の新戦略 ピアカウンセリング実践講座」をテーマに実施 2. 指導・後援 1) (社)日本家族計画協会主催(厚生労働省・文部科学省後援)日本思春期学会認定「思春期保健相談員」養成のための思春期保健セミナーの後援・指導 コース 第41回 平成14年7月26日~28日(山口県) 238名 コース 第42回 平成14年8月16日~18日(東京都) 420名 コース 第33回 平成14年9月15日~17日(東京都) 264名 コース 第37回 平成14年10月25日~27日(岡山県)	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
29. 日本児童 青年精神医学 会	学校精神保健の展開 ADHDに対する児童精神医学による専門的対策	思春期の保健対策として、特に学校精神保健対策の推進に努め、14年度は学会総会シンポジウムテーマとして「脆弱性と攻撃性」を企画し、思春期問題のより包括的な理解とケアのあり方を学会を挙げて取り組んだ。また、ADHD関係の精神保健対策は学校精神保健においても最も重要なテーマとなっており、米国よりこの道の第一人者であるピーダマンを招聘し、特別講演を行い啓蒙啓発に取り組んだ。また、文部科学省が押し進めている災害時の学校精神保健対策に協力する児童精神科医のリスト作りに対して本学会を挙げて協力をした。 開催日時：H14.11.27～29 場 所：日本都市センターホテル 参加者：約1000名	テーマ：13（思春期外来・病棟等の整備） 思春期精神保健活動に関わる社会資源の整備および専門職の質的向上 学会として継続して児童青年精神科診療体制の整備に努め、そのために学会総会において実践的な研究発表の機会を設け、本学会の会員の技術力のアップを図る。また、思春期問題につながる児童虐待対策を押し進める必要があり、特に「児童虐待と予防的対応」に関するセミナーを開催する。 学会開催日時：10月22日～24日 学会開催地：福岡市 参加予定人数：約800名 思春期精神保健活動の展開のためには、人的社会資源として専門職の拡充を図る必要があり、そのために学会として学会認定医の増員を図る。なお、現在学会が認定する児童精神科医師は約10
31. (社)日本 小児科医会	31	第2回思春期の臨床講習会を11月17日に開催 サンケイホール(東京)に於いて、参加者は「子どもの心相談医」約130名	テーマ 12.13 第3回思春期の臨床講習会を開催する。11月24日、日本都市センターに於いて開催予定。「子どもの心相談医」対象。 市民公開フォーラムを「思春期の心の問題」をテーマとして実施する。11月23日、日本都市センターに於いて、一般市民約150名を対象として開催予定。 「カウンセリングの実際」研修会開催。7月12日東京に於いて開催。「子どもの心相談医」がより実
32. (社)日本 小児科学会	6.十代の喫煙の防止	学校、病院、その他公共の施設での禁煙の推進、自動販売機によるたばこ販売の抑制、ならびに間接(受動)喫煙の有害性についてのキャンペーンなどを行った(こどもの生活環境改善委員会)。	・日本小児科医会、日本小児保健協会と協力し、少子化対策プロジェクトチームを中心に、未成年者の喫煙の実態調査の結果に基づき具体的な対策を検討する。 ・未成年者の喫煙の防止は、小児の健全育成のための条件の重要なものの1つである。喫煙の害は、喫煙者が未成年か成年かによらず、また喫煙本人のみならず間接喫煙として周囲の非喫煙者にも及ぶものである。特に、妊婦の場合、直接喫煙のみならず間接喫煙の生まれてくる子供に対する影響も考えられる。以上のことに鑑み、公共の施

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
37.(社)日本助産師会	2.3.8.9	<p>1) 無料電話相談モデル事業() 学生が利用しやすい平日の放課後の時間帯(16:00～18:00)にモデル事業として10ヶ所(秋田県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、福井県、兵庫県、岡山県、福岡県、大分県)で実施した。合計375件の相談があり、相談内容では人工妊娠中絶、性感染症、思春期の精神不安等の相談があった。</p> <p>2) 出張思春期教育の実施 (1) モデル事業とし平成13年度に作成した指導マニュアルや教材ビデオを活用して中学、高校各5校、計10校に実施した。() (2) その他、全国46支部においても「子育て・女性健康支援センター」活動の一貫として、積極的に実施している。 (3) 本会に思春期相談室を設け、相談に応じ毎週火曜日(16:00～18:00)、東京において実施している。 ()平成14年度社会福祉・医療事業団「子育て支援基金」(一般分)助成事業</p> <p>3) 思春期関係の研修会の開催() 思春期教育の指導者育成のために、全国6地区(兵庫県、新潟県、三重県、宮城県、高知県、大分県)で一日半の研修を実施し、378名の参加があった。</p> <p>4) 思春期教育フォーラム開催()3)で述べた6地区で、半日のフォーラムを開催し、468名の参加者があった。養護教諭をはじめ学校関係者、行政、市議会議員の参加もみられた。これを機に、新たな出張教育の依頼があった。</p> <p>5) 思春期教育の教材の開発 本会の思春期教育相談員を中心に、毎月1回勉強会を実施し、パンフレットや模型の作成等教材の開発に努めた。中学生、高校生向けのパンフレットおよび避妊指導の模型を作成した。 ()平成14年度社会福祉・医療事業団「子育て支援基</p>	<p>4つのテーマの共通の取り組み</p> <p>1) 無料電話相談事業 全国46支部の「子育て・女性健康支援センター」および昨年実施した10ヶ所のモデル事業のうち8地区と本部での思春期専門の無料電話相談を続行する。</p> <p>2) 出張思春期教育の実施 (1) 全国47支部および本部「思春期相談室」において、支部の事業として、積極的に推進する。 (2) (1)の推進に向けての教材整備のための助成を31支部に2年間行う。 (3) 社会福祉・医療事業団の平成13年度「子育て支援基金」の助成で作成した、「中学・高校生向けのビデオ教材」および「思春期教育指導マニュアル」の普及(頒布)に努める。</p> <p>3) 思春期教育用教材開発 昨年検討した中学・高校生向けのパンフレットを印刷し、支部等に配布する。</p> <p>4) 思春期相談員の育成に努める。 (社)家族計画協会主催の全国「避妊と性感染症予防のための実践セミナー」、いのちの応援舎主催「いのちの応援塾(性教育セミナー)」に共催協力し、特に助産師の参加を促す。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
38. 日本性感染症学会	3. 十代の性感染症罹患の予防 9. 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発	<p>講師派遣 保健所・学校のセミナー・講演会などに当学会の役員・会員が講師として参加し、性感染症に関する知識を拡め、健康教育の推進を図った。 学会講師派遣イベント一覧表 2003.04 - 2004.03 2002.11.25・朝霞保健所性感染症研修会(巴ひかる東京女子医大病院泌尿器科)保健師・看護師中心に約30名 2002.11.26・「第2回 性の健康週間 首都圏中央集会」於浦安市民会館(厚生労働省・文部科学省講演)(熊本名誉会員ほか講演) 一般参加 111名 2002.11.27・「性感染症に関する性教育研修会」藤沢保健所(松田静治常任理事講演)保健師・看護師約40名 2002.12.02・「性感染症の性教育」国際学院高校全校生徒約300名対象(熊本名誉会員講演) 2003.01.30・「エイズ性感染症セミナー」横浜YMCA主催(松田先生講演)一般参加 約30名 2003.02.22 東京国際フォーラム 2003.02.25・「性感染症・結核に関する研修会」松戸保健所(松田先生講演)学校の養護教員、保健師・看護師など</p>	<p>講師派遣の継続 本年も学校・保健所等の主催する、講演会・セミナーなどに当学会の役員・会員を講師として、派遣し、性感染症の知識の普及・予防啓発活動を行う。</p>
39. 日本赤十字社	10. 学校保健委員会の開催と開催への支援の協力	<p>内容:ポスターの作成、配布目的:夏休み期間中の健康的な生活習慣の確立を訴えるポスターの作成配布対象者:全国の青少年赤十字加盟校の小学校ほか関係機関に配布配布部数:36,000部</p>	<p>内容:各種講習会における青少年赤十字健康安全プログラムの普及 目的:本社で主催する講習会において、健康安全プログラムを取り上げ、具体的な指導方法の伝達を行うことで一層の普及を図る。 対象者:青少年赤十字指導者(青少年赤十字加盟校の教師) 時期:6月及び8月、各50名程度</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
43.(財)日本母子衛生助成会	2.3.4.5.6.7.8.9	<p>2.十代の人工妊娠中絶の予防 3.十代の性感染症罹患の予防 4.15歳の女性の思春期やせ症の発生予防と治療の促進 5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 6.十代の禁煙の防止 7.十代の飲酒の防止 8.避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 9.性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 *パンフレットの作成、配布 目的:高校男女生徒に「健康は自分で育て、自分で守ろう」との意識向上を図ることを目的に、パンフレット「ティーンズヘルスノート」を作成 配布対象者:自治体・高等学校を通じて住民・生徒に配布 配布部数:100万部 効果:思春期のからだ、健康、性感染症等についての正確な情報と健康維持について、高等学校の保健体育、家庭の副読本に利用されています。また、自治体から住民の思春期の健康等に関する普及啓発を図るリーフレットとしてもご活用いただいています。</p>	<p>2.十代の人工妊娠中絶の予防 3.十代の性感染症罹患の予防 4.15歳の女性の思春期やせ症の発生予防と治療の促進 5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 6.十代の禁煙の防止 7.十代の飲酒の防止 8.避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 9.性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 *パンフレットの作成・配布を継続実施 前年度と異なる内容:作成部数90万部</p>
44.日本母性衛生学会	3.十代の性感染症罹患の予防 8.避妊法に対する若者の知識・技術の普及・啓発 13.思春期外来のあり方、目的	<p>左記のテーマを中心に理事長講演(第43回本学会学術集会・理事長岩崎寛和)でとりあげ教育的情報の伝達を計った。 参加人数(対象者)約2,000名(医師・助産師・保健師・看護師など) 開催 第43回日本母性衛生学会学術集会 場所 旭川市民文化会館 効果 対象者に3.8.13を中心に具体的方法・将来的効果を中心に伝達することにより理解と実施の意義を深めた。</p>	<p>2.十代の人工妊娠中絶の予防 本年度第44回日本母性衛生学会学術集会において下記の教育講演を実施し、このテーマについて会員の理解と対策を深める。 テ - マ 「十代の妊娠の現状」 講 師 渡辺 尚(自治医科大学産婦人科講師) 期 日 15年10月9,10日 場 所 宇都宮市 予定参加人員 2,000名 効 果 現状の問題点の指摘と対策を会員を中心に参画し理解を深め改善策を考える。 3.「十代の性感染症罹患の予防」 シンポジウム「コミュニティベース性教育」をテーマとしてSTDの予防、避妊と妊娠、小中高生の性教育、ピアカウンセリング等について核心となる問題</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
47. (社)日本薬剤師会	5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発	<p>5. 「薬物乱用防止研修会」の開催 目的(テーマ): 児童・生徒の薬物乱用防止に向けた指導者の育成 開催数: 2回(岩手県、香川県で実施) 参加人数: 400名(学校薬剤師など) 効果: 「薬物乱用防止研修会」を受講した薬剤師が講師となり、学校教育の一環として、児童・生徒対象の薬物乱用防止の啓発活動を実施 「薬と健康の週間」(10月17～23日)において、薬物乱用防止をテーマにした各種事業を各都道府県薬剤師会等で実施。</p> <p>6. 十代の喫煙の防止 パンフレット「『受動喫煙』が及ぼす子供への健康影響・被害」の作成・配布 住民向け啓発パンフレット「『受動喫煙』が及ぼす子供への健康影響・被害」を作成し、各種キャンペーンや平成14年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究推進事業シンポジウム(平成15年3月4日、於: JAホール)等で配布。 効果: 受動喫煙による健康被害の説明に留まらず、喫煙防止を広く啓発 「喫煙防止啓発パネル」の無償貸与 禁煙教育に用いるための「喫煙防止啓発パネル」を作成し、都道府県薬剤師会及び支部薬剤師会に対して無償貸与。各種イベントで展示・活用。 開催数: 11回(青森県2回、福島県3回、大阪府、兵庫県、奈良県2回、和歌山県、高知県で実施) 効果: 一般市民に対し、喫煙防止を広く啓発</p>	<p>5.薬物乱用の有害性について若者への知識の普及・啓発 「薬物乱用防止研修会」を実施(継続) 目的(テーマ): 児童・生徒の薬物乱用防止に向けた指導者の育成 開催数: 1回(愛知県で実施) 参加人数: 約200名(学校薬剤師など) 効果: 「薬物乱用防止研修会」を受講した薬剤師が講師となり、学校教育の一環として、児童・生徒対象の薬物乱用防止の啓発活動を実施 「健康・学校環境衛生講習会」を実施(新規) 目的(テーマ): 薬物乱用防止等に向けた指導者の育成 開催数: 1回(北海道で実施) 参加人数: 約350名(学校薬剤師・学校保健関係者) 「薬と健康の週間」(10月17～23日)において、薬物乱用防止をテーマにした各種事業を各都道府県薬剤師会等で実施。(継続)</p> <p>6.十代の喫煙の防止 パンフレット「『受動喫煙』が及ぼす子供への健康影響・被害」の作成・配布(継続) 住民向け啓発パンフレット「『受動喫煙』が及ぼす子供への健康影響・被害」を作成し、各種キャンペーン等で配布。 効果: 受動喫煙による健康被害の説明に留まらず、喫煙防止を広く啓発 「喫煙防止啓発パネル」の無償貸与(継続) 禁煙教育に用いるための「喫煙防止啓発パネル」を作成し、都道府県薬剤師会及び支部薬剤師会に対して無償貸与。各種イベントで展示・活用。 効果: 一般市民に対し、喫煙防止を広く啓発 「喫煙防止啓発パンフレット」の作成・配布(新規) 上記啓発パネルの内容をパンフレット化(全16頁)し、薬剤師会が行う各種イベントや薬局店頭等に</p>
49. (財)母子衛生研究会	3.及び 思春期の性に関すること全般	<p>* 電話情報「青春ほっとダイヤル」の実施 目的: 思春期の性やからだと健康について解説し、思春期における悩みや不安を軽減させるために、いつでもどこからでも利用できるテープによる24時間電話情報サービスを実施。 対象者: 思春期の男女 効果、その他: 他人に相談しにくい内容だが、よくある質問85項目について電話ですぐ情報が得られる。これで悩み</p>	<p>* 電話情報「青春ほっとダイヤル」を継続実施</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議	2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62	<p>1 平成14年母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会)の開催 本年より本会議・厚生労働省・(社)福 恩賜財団母子愛育会・(社)日本家族計画協会・佐賀県・佐賀市の主催により開催するとともに永年地域母子保健活動に貢献のあった団体と個人に本会議会長表彰を行った。 平成14年11月14日(木) 特別講演「育児と育自...子どもと大人、同世代を生きる」 講師 作家 落合 恵子 シンポジウム テーマ「子どもの健やかなこころを育むために～健やか親子21の目指すもの～」 コーディネーター (社)日本小児保健協会会長 前川 喜平 シンポジスト 世田谷区烏山保健福祉センター 塩谷 博子 地域ぐるみの子育てをすすめるひだまりの会 高山 静子 佐賀新聞社報道部記者 エドワード・クランドール 平成14年11月15日(金) シンポジウム テーマ「現代っ子の性を考える」 司会進行 (社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫 司会進行 NBCラジオ佐賀パーソナリティー 阿部 かおり シンポジスト 若者 男女 数名</p>	<p>2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62 1 平成15年母子保健家族計画全国大会の開催 富山県富山市で開催される大会に主催団体として企画・準備・運営等を行う。 期 日:平成15年11月6日(木) 7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>2 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施 富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。</p> <p>3 第3回母子保健推進員全国大会の開催 開催日:平成15年11月7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>5 母子保健推進員教育事業 (1)ブロック母子保健事業研修会の開催 (2)母子保健推進員研修会の開催 (3)母子保健推進員県外交流特別研修会の開催 (4)沖縄県母子保健特別対策の実施 (5)母と子の健康を守るつどい (6)都道府県母子保健推進員協議会組織育成事業 (7)母子保健指導書の制作配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>行政説明 国民運動「健やか親子21」の推進を厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長 谷口隆</p> <p>思春期教育劇「未来へ」 沖縄市母子保健推進員「ひまわり会」 シンポジウム「母子保健推進員協議会活動の現状と展望」 司会 (社)母子保健推進会議常務理事 原澤 勇 アドバイザー NPO法人全国市町村保健活動協議会常任理事 大坂 多恵子 講師 山口県母子保健推進協議会会長 林タカ枝 富山県母子保健推進員連絡協議会 轡田民子 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会会長 狭間歌子 長野県保健補導員会等連絡協議会会長 田中晃子 佐賀県母子保健推進協議会会長 古賀裕子</p> <p>3 (社)母子保健推進会議会長表彰 1) 団体 (21) 2) 個人 (34)</p> <p>4 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 日 時:平成14年11月14日(木) 17:15～19:00 会 場:佐賀市文化会館 内 容:母子保健推進員活動報告 出席者:46名(各県母子保健担当者、母子保健推進員および関係者)</p> <p>5 母子保健推進員教育事業 (1)ブロック別母子保健事業研修会の開催 本会議、開催県、(社)日本家族計画協会、(社)全国保健センター連合会との共催、厚生労働省、(社)日本助産師</p>	<p>母子保健推進員を対象とする指導書を制作する。 1) 指導書(手帳) 2) リーフレット (表 題) 「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」</p> <p>6 本会議機関紙“母推さん”の刊行 「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104～115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 (表 題) 「ママと赤ちゃんの健康チェック」 支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 「健やか親子21」国民運動の推進</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>テーマ:子どもの心の安らかな発達支援のために 子どもの虐待防止を目指す地域システムづくり 思春期の心の健康づくり 若者の性を考える 妊娠・出産期の母子精神保健 育児不安と子どもの虐待 小児期における問題の早期発見と早期対応の取り組み</p> <p>1) 東北・北海道ブロック(秋田県) 250名 9月5日～6日 2) 関東・甲信越ブロック(東京都) 107名 8月29日～30日 3) 東海・近畿・北陸ブロック(京都府) 107名 8月29日～30日 4) 中国・四国ブロック(高知県) 86名 11月21日～22日 5) 九州ブロック(北九州市) 256名 8月22日～23日 6) 北海道(札幌市) 180名 11月15日</p> <p>(2)母子保健推進員研修会の開催 市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。</p> <p>主な研修会の内容は、</p> <p>1) 母子保健推進員活動報告 2) こどもの事故防止 3) 乳児期の歯科保健 4) 子育て支援 5) 歯科保健 6) 子どもの虐待 7) ドメスティック・バイオレンスと女性の人權 8) 思春期保健</p> <p>(3) 沖縄県母子保健特別対策の実施 沖縄県母子保健事業の促進をはかるため、沖縄県において母子保健推進員、市町村母子保健担当者を対象に、平</p>	<p>9 母子歯科保健知識の普及活動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 [表 題] ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業 (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (6) 歯科保健指導用パネル制作配布</p> <p>10 妊婦等禁煙運動の推進 (1) ポスターの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業</p> <p>12 子育て中の母親へのピア・カウンセラー養成事業</p> <p>13 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(4)母と子の健康を守るつどい 母子保健推進員の地域活動を助成し、県民の乳幼児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかるため「母と子の健康を守るつどい」を山口県阿東町で開催した。</p> <p>(5)ピアカウンセラー養成事業 新潟県五泉市において母子保健推進員に対して9日間コースでピアカウンセリング研修会を実施した。</p> <p>(6)母子保健指導書の制作頒布ならびにリーフレットの制作配布 母子保健推進員に対する指導書及び推進員訪問活動用リーフレットを制作配布し、母子保健事業の教育並びに啓発を行った。</p> <p>1)指導書 〔表題〕「母子保健推進員」 〔制作数〕1,500部 〔配布先〕母子保健推進員</p> <p>2)リーフレット 〔表題〕「丈夫な赤ちゃんを生ま育てましょう」 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」 〔制作数〕20,000部×2種 〔配布先〕母子保健推進員(研修会参加者)</p> <p>(7)都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業 母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。 富山県母子保健推進員連絡協議会 長野県保健補導員等連絡協議会 新潟県母子保健推進協議会 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会</p>	<p>14 第15回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 (財)予防医学事業中央会、(社)日本家族計画協会との共催で開催する。</p> <p>表彰最優秀賞 : 厚生労働大臣賞 1件 優秀賞 : 3件 佳作賞 : 若干 奨励賞 : 若干</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(8)茨城県北浦町視察研修 平成14年11月29日(金)に茨城県北浦町の母子保健推進員および、担当保健師13名が本会議に来訪。視察研修を行った。</p> <p>6 本会議機関紙「母推さん」の刊行 母子保健推進員を対象として、機関紙「母推さん」-母子保健推進員だより-(タブロイド判)を毎月発行し、全国の都道府県保健所・市町村母子保健関係者及び母子保健推進員等に配布した。92号～103号</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業 地域住民の参加により、子育て問題をテーマとする「母子保健・健全育成住民会議」を次の各県で開催した。 主な研修会の内容は 1)講演「心をことばにのせて」 2)絵本の読み聞かせ 3)講演「ダダこね育ちのすすめ」 4)シンポジウム「子育てに思うこと」他</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動 (1)10月を「母子保健強調月間」とし、(社)日本産婦人科医会、(社)日本小児保健協会など会員団体の協力、厚生労働省の後援を得て次の事業を実施した。 1)妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 〔表題〕「ママと赤ちゃんの健康チェック」-支えよう21世紀の健やか親子- 健診を忘れずに受けましょう 働く女性、事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 母と子の健康をまもる運動 〔主唱〕社団法人 母子保健推進会議</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>2) 母子保健啓発用パンフレットの制作配布 〔表 題〕「母子保健」第38号 〔制作数〕 2,600部 〔配布先〕 都道府県、政令市、中核市、関係諸団体、全国大会参加者</p> <p>9 母子歯科保健知識の普及運動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施 市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と併せて、母子保健推進員及び保健師、学校関係者等を対象に、次の各県で行った。 主な内容は、 1) 口腔清掃 2) 歯周病の原因と予防 3) 摂食機能の発達について 4) 歯科臨床の現場から 5) 噛み合わせと歯の健康 6) 歯科矯正 開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表 題〕「乳幼児歯科保健指導のポイント」(歯科保健指導者のために) 〔制作数〕 1,600部 〔配布先〕 歯科研修会開催県及び参加者(専門職)</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子 保健推進会議		<p>(3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県への委託、愛知県歯科医師会の指導により制作配布。 〔表 題〕「歯のパスポート」守ってあげてね！お子様の歯！こんにちは！6歳臼歯 〔制作数〕 81,000部 〔配布先〕 愛知県市町村及び歯科医師会</p> <p>(4) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 〔表 題〕「おかあさんといっしょに よい歯で よくかむよい子ども」 〔制作数〕 750,000部 〔配布先〕 全国保健センター、各県研修会場</p> <p>(5) 歯科保健指導用パネル制作配布 〔表 題〕 歯科保健指導用パネル 〔指 導〕 (社)日本歯科医師会 〔制作数〕 725枚 〔配布先〕 都道府県、政令市、市町村、各県歯科医師会関係</p> <p>(6) 母子歯科保健教材セットの配布 〔対 象〕 1.6歳児または3歳児 〔実施方法〕 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健知識の普及を図った。 〔配布教材〕 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット 3歳児用歯ブラシとリーフレット</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>10 妊婦等禁煙運動の推進 (1)妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。 1)ポスターの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 〔協賛〕明治乳業株式会社 〔後援〕社団法人 日本産婦人科医会 〔制作数〕20,000枚 〔配布先〕都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等 2)リーフレットの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕86,000部 〔配布先〕都道府県、関係諸団体等 3)クリアファイルの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕15,000枚 〔配布先〕研修会開催県及び参加者等</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業 子どもの事故防止のための研修会を開催するとともに事故の調査を行った。また教材の制作を行い広く活用を図った。 (1)研修会の開催 鹿児島県 平成14年10月16日(水) 沖縄県 平成15年1月23日(木) (2)誤飲防止の教材として「誤飲チェッカー」の開発を行</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>12 子どもの虐待防止推進事業 「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。 (1)研修会 延参加者数 1,288名 群馬県 平成14年 6月24日(月) 前橋市民文化会館 421名 熊本県 平成14年10月10日(木) メルパルク熊本 300名 大阪府 平成14年11月19日(火) ドーンセンター 270名 広島県 平成14年11月27日(水) 広島県健康福祉センター 147名 長野県 平成14年11月28日(木) 長野県自治会館 150名 (2)テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。 テキスト... 「母推ノート」- 子ども虐待防止のためのサポート - 13,000部 規格:A5版、80頁、4色刷 著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人 リーフレット...「お母さん、子育てを楽しんでいますか？」 - 一人で悩まないで、私たちもお手伝いできます - 100,000部 著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p> <p>13 第14回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、東京都、(財)保健会館、健康</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		厚生労働大臣賞 1席 沖縄県沖縄市母子保健推進員ひまわり会 パネル「事故予防パネル」 模型「事故予防ミニチュアハウス『危ない家』」 優秀賞 3席 北海道札幌市中央保健センター パネルシアター「いのちからだのおはなし」 千葉県四街道市立学校栄養士会 模型「野菜人形」 新潟県市町村栄養士協議会上越支部 パンフレット「元氣いきいきチェック表」 佳作賞 48席 北海道渡島保健所ほか47席 パワーポイントスライドショー「介護認定審査会委員研修用スライド」 奨励賞 11席 千葉県夷隅郡市学校栄養士会ほか10席 エプロンシアター「三色の栄養エプロン」	
54.日本新生児学会		思春期の問題と出生前・後の児の健康の確保を関連づけるアピールをおこなうべく、学会内委員会において実現のための検討をおこなった。	8. (1)若年妊娠に伴う周産期の問題点について、母体、新生児の両方の観点から明らかにし、医療従事者および、思春期の生徒、学生への教育方法を検討する。 (2)思春期の心の発達過程において、妊娠、分娩、育児について正しく理解させる方策を検討する 9. 性感染症と妊娠、分娩、新生児との関わりについての教育、啓蒙運動を計画する。 上記のテーマにつき本学会のホームページの一般市民を対象としたページに掲載する。
55.日本学校保健学会	6.十代の喫煙の防止	前年に引き続き、「学校をタバコのない場所に！」という運動を行った。 この運動のためのプロジェクトを学会内に組織して各都道府県及び政令指定都市の教育長宛に学会提言のパンフレットを送付しこの運動の推進方を依頼した。 教育委員会主催の会合にプロジェクトメンバーを派遣し学校内喫煙防止の講演を行った。	本年度も上記の運動を継続して行ってゆく。 和歌山、茨城など県単位で学校内禁煙取り組み始めたところもあり、なお一層の普及にむけて様々な方法で働きかけを続けてゆく。
60.日本外来小児科学会		1.リーフレット作成委員会より、リーフレットの作成と配布(思春期の鉄欠乏性貧血) 2.ワークショップ:思春期のプライマリケアをどう実行するか 8月31日、第12回日本外来小児科学会年次集会、名古屋国際会議場、参加者 25名 概要:小児科医が思春期のプライマリケアを担う場合の基本的な知識、技術、実行するうえでの問題点について討	1.リーフレットで思春期に関するものを作成する。 2.学会の年次集会でワークショップを継続し、ガイドライン作成をめざす。また、学会全体の活動として位置づけられるよう活動を拡大する(思春期問題検討会の設立)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
64.(社団)日本女医会	2.9.及び3.4.12.	<p>十代の人工妊娠中絶の予防 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 * 「十代の性と健康」指導者養成講座を継続して二回開催(第二回、第三回) 目的:十代の妊娠中絶率の増加に伴い、増加している性感染症の恐ろしさを教え、正しい科学的知識・予防法等を徹底する。 参加人数(対象者): 第二回 109名(医師、教諭、助産師、保育師、警察、学生、その他) 第三回 186名(医師、教諭、養護教諭、保健師、助産師、看護師、学生、その他) 開催数 2回 方法等 1回目は「性と健康を考える女性専門家の会」の協力 2回目も「性と健康を考える女性専門家の会」の協力、さらに 宇都宮市の共催、栃木県医師会、宇都宮市医師会、宇都宮市 教育委員会の後援を得た。 効果、その他 専門性の高い講師を選定し、講演内容も受講者より極めて好評であった。 * 性教育指導の専門指導者の養成とネットワーク * ウェブサイトによる健康教育</p>	<p>十代の人工妊娠中絶の予防 性感染症に対する若者の知識の普及・啓発 * 「十代の性と健康」指導者養成講座を全国5ヶ所で開催する。 * 「ウェブサイトによる健康教育」の内容充実を図る。 * 地域における性教育の充実と強化 * 会誌に「健やか親子21」について、記事を掲載する。</p>
67.日本泌尿器科学会		<p>9 1. 平成14年8月22日から24日まで、金沢市文化ホールで開催された第21回日本思春期学会を日本泌尿器科学会並木幹夫理事が担当した。 まず学会初日には「健やか親子21」を推進する立場から、「思春期をめぐる諸問題と「健やか親子21」-保健・医療・教育現場での取り組み-」と題するシンポジウムを市民公開講座として行ない、一般市民および約600名の全国の保健、医療、教育関係者にこの運動に理解を求めた。 学会2日目には広島大学木原雅子先生の特別講演『日本の若者の性行動と性感染症感染リスク』が行なわれ、教育担当者や保健担当者の性感染症に対する知識の向上が図られた。 2. 全国各地の講演会(群馬県生殖医療研究会、Urological Research Conferance of Tokyo、北九州泌尿器科臨床医</p>	<p>1. 第53回日本泌尿器科学会中部総会教育セミナーで、長野赤十字病院天野俊康先生に「思春期とSTD -男子思春期研究会の取組み-」を講演いただき、一般泌尿器科医に理解と協力を求める。 2. 全国各地の講演会で「健やか親子21」の取組みを説明し、理解と協力を求める。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会			2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62. 1 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施 富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。 2 第3回母子保健推進員全国大会の開催 開催日:平成15年11月7日(金) 会 場:富山県民会館 3 母子保健推進員教育事業 母子保健推進員研修会の開催 4 本会議機関紙「母推さん」の刊行 「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104 ~ 115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。 5 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 (表 題)「ママと赤ちゃんの健康チェック」 支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会			<p>6 母子歯科保健知識の普及活動</p> <p>(1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催</p> <p>(2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表 題〕ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」</p> <p>(3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。</p> <p>(4) 母子歯科保健教材セットの配布事業</p> <p>(5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布</p> <p>(6) 歯科保健指導用パネル制作配布</p> <p>7 妊婦等禁煙運動の推進</p> <p>(1) ポスターの制作配布 〔表 題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」</p> <p>(2) リーフレットの制作配布 〔表 題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」</p> <p>(3) クリアファイルの制作配布 〔表 題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」</p> <p>タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p> <p>8 子どもの事故防止推進事業</p> <p>9 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
71.(財)日本性教育協会	2.3.8.9.	<p>2、3、8、9を、個別ではなく、一つのテーマと考え取り組んだ。</p> <p>研究会・セミナーの実施</p> <p>・「第32回全国性教育研究大会」実施 基本テーマ「『生きる力』と性教育」 参加人数(対象者):550名(教育、保健関係者、PTA等) 開催方法等:8月7日(水)～9日(金)北海道札幌市で実施(全国性教育研究団体連絡協議会と北海道性教育研究会と共催)</p> <p>・特別セミナー「性と生徒指導について考える」実施 参加人数(対象者):各回30名(教育、保健関係者) 開催数:3回</p> <p>・セミナー「最新Sexual Health教育の実践的進め方」実施 参加人数(対象者):40名(教育関係者等) 開催回数・方法:1回(特定非営利活動法人 ぷれいす東京と共催)</p> <p>・「平成14年度世界エイズデーシンポジウム」実施 参加人数(対象者):250名(教育関係者) 開催数・方法:1回(文部科学省、財団法人日本学校保健会と共同主催。11月27日(水)、国立オリンピック記念青少年総合センター)</p> <p>研究助成と研究成果の発表</p> <p>諸外国における性教育のカリキュラムに関する研究 Lions-Questによるライフスキル形成を目指した性教育プログラムの研究 神戸大学大学院修士課程 森脇 裕美子 産婦人科医が認識する女性の性器クラミジア感染者の特徴と保健行動の特性 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授 松岡 恵 上記の研究に助成し研究成果を口頭発表し、論文集『日本 = 性研究会誌』会報第14巻1号に掲載・有料で配布。</p>	<p>2、3、8、9を、個別ではなく、一つのテーマと考え取り組む。</p> <p>研究会・セミナーの実施</p> <p>・「第33回全国性教育研究大会」実施予定 基本テーマ「『生きる力』と性教育」 参加人数(対象者):約600名(教育、保健関係者、PTA)</p> <p>開催方法等:8月6日(水)～8日(金)栃木県宇都宮市で実施予定。(全国性教育研究団体連絡協議会ととちぎ思春期研究会と共催)</p> <p>・セミナー「最新Sexual Health教育の実践的進め方」を継続実施 開催数を4回に拡大 参加人数(対象者):各回40名(教育関係者等) 開催回数・方法:4回(特定非営利活動法人 ぷれいす東京と共催)</p> <p>・「平成15年度世界エイズデーシンポジウム」実施予定 参加人数(対象者):250名(教育関係者) 開催数・方法:1回(文部科学省、財団法人日本学校保健会と共同主催。国立オリンピック記念青少年総合センター)</p> <p>研究助成と研究成果の発表</p> <p>マイノリティーの社会環境および世代によるHIV感染リスクの違いに関する研究 タイ北部山岳民族の性意識・性行動調査から</p> <p>小堀 栄子(京都大学大学院医学研究科博士課程) 性被害を受けた生徒への養護教諭の対応の現状と課題 質的調査を通して 杉村 直美(愛知県立安城高等学校定時制養護教</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
-思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
74.健康日本21推進フォーラム	60.栄養・食生活の改善	<p>*「健康日本21リーフレット」栄養・食生活シリーズの作成 目的：健康日本21地方計画の実施に際して、全国の栄養士、都道府県および市町村が住民啓発用に配布、活用できる栄養指導媒体の制作 企画・編集・発行：社団法人日本栄養士会 制作協力：健康日本21推進フォーラム 協賛：健康日本21推進フォーラム会員社 発売元：株式会社法研配布 対象先：47都道府県栄養士会、47都道府県担当部署 配布部数：18万部（初回無償配布）初回分以降は頻布、1部30円 効果、その他：平成13年10月のNo.1の発行以来、現在までNo.12までシリーズとして発行されており、全国の栄養指導現場で活用されている。初回配布以後の頻布分でも、全国の各市町村などからNo.1～No.12までの累計で20万部が販売されて活用されている。</p>	<p>健康日本21推進フォーラムは、「健康日本21」を産業界から支援する目的で、1999年11月17日に設立された任意団体であり、62の企業・団体（2003年3月現在）が参加して活動を行っています。平成15年度より、「健康日本21」のみならず「健やか親子21」への支援も活動目的に付加し、本年度より取り組みを開始する予定です。 平成15年度の活動目標 1) 科学的根拠に基づいた健康情報の発信 2) 健康日本21推進全国連絡協議会及び健やか親子21推進協議会加盟団体との連携強化 3) 地方計画（都道府県・市町村計画）への支援活動 4) 会員社・団体による広報・広告活動の推進 本年度は、まず「健やか親子21」への認知・理解を深めて、企業・団体の立場からどのような支援が行えるかを模索していくことが活動の中心になります。予定されている活動は、下記です。 * 第三回会員総会（5/14）での特別講演「健やか親子21について」講演者：平山宗宏先生（健康日本21推進フォーラム理事に就任予定） * 健康日本21推進フォーラム講演会（年4回開催）「健やか親子21」に関連した講演を開催予定（時期、内容未定） * 自主研究会会員社による自主研究会活動において、「健やか親子21研究会」を設置する予定。 * 健やか親子21推進協議会との連携施策自主研究会などを通じて、どのような連携施策ができるかを検討していく予定。 * ホームページを活用した情報発信フォーラムのHPコンテンツの中に、「健やか親子21」に関連した</p>